

# 建築資格研究会

## 【2021年1月1日ご挨拶】

講座開設から早7年となりました。当初、HP来訪者は約10名/日でしたが、現在多い時は1000名/日を超えています。2021年は、携帯利用強化から音声解説を組込みます。ポイント一覧表の読上は2021年中に、項目別パワーポイント音声解説は一部をアップします。ポイント一覧表は、H7～R1までの問題を正解肢箇条書き一覧とし携帯で聴けます。毎日の通勤で聴くと、試験時に間違い問題が「違う」と感じ、これだけでも限りなく90点に近づけると思います(1級学科は通学しなくても合格できます)。1級製図は5年連続で3課題内容が本試験80%以上の中し、R3も的中させます。

## 1. 建築資格研究会とは

建築資格研究会は、建築業界に長年勤務した仲間5名<sup>※1</sup>が、「**建築を志す若い方の育成に少しでも寄与したい**」という趣旨から2015年1月1日に設立しました。当初、若い方に聞き取り調査をした結果、多くの方から「**一級建築士の格安講座を開いてもらいたい**」との意見<sup>※2</sup>がありました。そこで、「**1級建築士**」の講座をインターネットを通して**無料**で提供しようとなり、実行委員5名の寄付金200万円によりHPを開設しました。2015年の1年間は全て無料で公開したが、HPの維持管理費と過去問の使用許諾<sup>※3</sup>のため、2年目から年会費のある「**会員講座**」を追加しました(年会費**2万円/年**)。会費は、HPの維持管理費のみに使用し、資料は実行委員が無償で作成しています(研究会は利益を追求する企業ではありません)。

※1 仲の良い友人5名(全員1級建築士、内1名構造設計1級建築士、1名設備設計1級建築士)で研究会を立ち上げました。

※2 1級建築士取得に資格学校へ通学しているが合格できず、独学も自信が無く、格安で学べるネット講座開設の要望が多かった。

※3 過去問は、公益財団法人建築技術教育普及センター(以下、センターと言う)から会員講座で公開することを条件に使用許諾を受けています。

## 2. 聞き取り調査での要望

2014年に実施した1級建築士の聞き取り調査では、次の要望が集まった。

- ① 学科講座では**過去問20年**等が一目で見れるような資料、製図講座では高確率的中する**予測課題**を取りまとめて頂きたい。
- ② 通勤時には**スマホ**、昼休みは**パソコン**で何時でも何処でも見れる講座にして頂きたい(PDFでの打出しも可能にしたい)。
- ③ 他社多くの講座は、数十万円と高額なため、**無料**か、それが無理なら年会費を1ヶ月のお小遣い程度にしたい。

## 3. 2級建築士、設備設計1級建築士、構造設計1級建築士の追加と停止

2016年には、多くの方から「2級建築士、設備設計1級建築士、構造設計1級建築士」の講座も開設して頂きたいとの意見があった。それを受け2017年に講座を追加した。ただし、構造設計1級建築士は、(社)日本建築構造技術者協会(JSCA)から4千円/冊で過去5年間の解答書が販売されたこと、設備設計1級建築士は担当者が1名で業務多忙と高齢から、どちらも現在**停止**しています。

## 4. ひと休み「建築実務の話」と「名著を紹介」の組み込み

研究会は、当初「建築実務の解説」をするHPを作りたいかった。しかし、聞き取り調査の結果、「建築実務の話」よりも「1級建築士の資格講座」にして欲しい要望が大多数であった。実行委員からは、「約30年の実務ノウハウを何らかの形で伝えたい」となり、建築実務に役立つテーマを抽出し、「ひと休み**建築実務の話**」として組み込みました。資格は今取得すべきものですが、実務は一生を掛けて身に付けるものです。ここでは、建築実務について、全てのしがらみを取り除き**純粋な技術**として解説することにしました(企業への付度無し)。その後、「建築の話だけではひと休みにならない」との意見もあり、2020年12月から「ひと休み**名著を紹介**」を追加しました。皆様にも少しでも寄与する名著を選びましたので、ひと休みに一読頂けたら幸いです。

## 5. HPのメリットとデメリット

【**メリット**】 ① スマホ&パソコン(PDF打出可)で何時でも何処でも自分のペースで学習ができます。

② 資格学校に通学しなくても合格できる資料(2020年もHP講座のみで1級建築士の製図試験に合格した方が数名います)。

③ この種の講座としては極めて安価(HPの会費は学科と製図の両方で2万円/年、資格学校への通学なら30～80万円/年)。

【**デメリット**】 ① 資格学校のような対話型ではない(HP資料での公開のみ、ただし1級建築士の製図のみメール質疑応答に対応してます)。

② 利益を求めた企業ではないので迅速な対応ができない(メール対応のみで1日1回は見ているので翌日回答もあります)。

③ 毎週月曜日に追加アップする手作り感を脱却できない(誤字脱字もあり指摘を頂いたとき適宜修正してます)。

## 6. スマホ対応強化として「音声解説」の追加

スマホ学習を強化するため、次の2つの新しい講座を設けることとしました。①ポイント一覧表の音声読上は、2020年12月から組込、2021年中には完了予定。②項目別パワーポイント音声解説は、外注費が高額であることから会員増加に併せて組込予定(2021年は1級学科Ⅲ法規の予定)。

① 「**2章過去問20年のポイント一覧表**」をスマホで聞けるように**音声読上**を組込

② 「**7章項目別の重要解説**」をベースに内容をまとめ直して、スマホで**パワーポイント音声解説**として見れるように組込

## 7. おわりに

多くの方からご連絡を頂く中で、「学科で2年、製図で3年学校に通い、200万円以上を掛けても合格できず、もうあきらめようとしたとき、当講座をネットで見つけて再度学科からチャレンジしようという気持ちになった」と言うメールを頂きました。当講座は、そのような方にも**再度試験にチャレンジ**したいと思えるようなHPにしたい。また、1級建築士の製図試験は、合格者の約9割<sup>※4</sup>が資格学校に通学している方です(資格学校の合格率は約50%<sup>※5</sup>)。当HPは、通学しない方もHPだけでの学習で合格できるような、また通学の方も合格できるのは通学者の約半数なので、併用活用頂き隣の方に勝って合格できる講座を目指してます。2020年12月25日に1級製図の合格発表があり、数名の方は当HPのみで合格できました。将来、多くの方から当HPだけで合格できたと喜んで頂けるように尽力します。

※4 H27製図合格者3,774名、公表されたS社2,149名とN社1,145名で合格占有率87%、その他非公表含め9割強が資格学校と想定。

※5 資格学校から公表された数値は合格率ではなく占有率です(S社は単純に受講者比率が高く占有率も高いです、合格率は約50%と想定)。

研究会は利益を追求する企業ではなく、実行委員5名は全員が現役サラリーマンであり、資料作成は休日等に行っています。HPは皆様からの意見を取り入れ、より良い講座となるよう地道に更新しています。事務局は、1日1回必ずメールを見ますが、メール返信に時間を要することもあります。終わりに研究会は、宣伝に費用を掛けていません(会費はHPの維持費のみに使用)。現在、会員も徐々に増加し「音声解説(外注費あり)」を始められる状況になりました。今後も日々努力してまいりますので、皆様から**口コミ宣伝**をして頂ければ幸いです。

「建築資格研究会」実行委員